# 配信資料に関する仕様 No. 11601

~解析雨量•速報版解析雨量~

### 1. 概要

解析雨量と速報版解析雨量は、気象庁・国土交通省が保有する気象レーダーの観測データに加え、気象庁・国土交通省・地方自治体が保有する全国の雨量計のデータを組み合わせて、1時間の降水量分布を1km四方の細かさで解析したものです。解析雨量は30分ごとに、速報版解析雨量は10分ごとに作成されます。例えば、9時の解析雨量は8時~9時、9時10分の速報版解析雨量は8時10分~9時10分の1時間雨量となります。

解析雨量や速報版解析雨量を利用すると、雨量計の観測網にかからないような局所的な強雨も把握することができるので、的確な防災対応に役立ちます。

## 2. 解析雨量の仕様

### (1) データの概要

国土交通省及び気象庁の全レーダーサイトのデータを利用し解析雨量のデータ を提供しています。

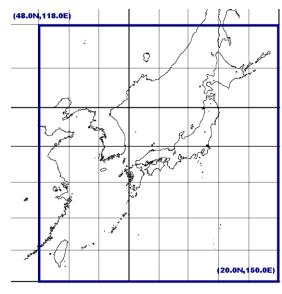


図1 各データの計算領域

ファ	アイル形式	GRIB2					
格絲	内要素	解析雨量					
	格子系	等緯度経度					
格	配信領域	北緯 20 度~48 度 (図 1 参照)					
子		東経 118 度~150 度					
系	格子の間隔	0.0083 度(緯度)×0.0125 度(経度)					
	格子の数	3360(緯度)×2560(経度)					
予幸	眼時間等	1時間積算雨量					
作原	<b>戈頻</b> 度	30 分毎					
ファ	ァイルサイズ	250KB					

(ア) 解析雨量の作成時には、あるレーダーでエコーが観測された場合でも、 そのエコーのある地域に近くて見通しの良い場所にある別のレーダーでエコー が観測されていなければ、そのエコーは「上空エコー」であるとみなして、解 析雨量の作成に利用しないようにします。(図2参照)

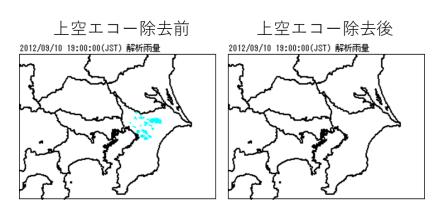


図2 上空エコー除去前後の解析雨量

(イ) 気象レーダーでは、海上で実際にはない降水を観測することがありますが、この際に出現する過大な解析値を気象衛星ひまわりの赤外観測データを利用して軽減します。(図3参照)

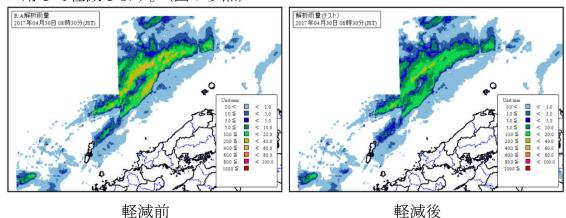


図3 過大な解析値軽減前後の解析雨量雨量

## (2) ファイル形式

解析雨量のファイル形式は、国際気象通報式 FM92 GRIB 二進形式格子点資料気象通報式 (第2版) (以下 GRIB2) です。

GRIB2 の詳細については国際気象通報式・別冊に記述されています。

データの概要は以下のとおりです。(フォーマットの詳細については別紙1を参 照願います)。

#### (3) ファイル名

Z\_\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_SRF\_GPV\_Ggis1km\_Prr601v\_ANAL\_grib2.bin

※1 Z と C の間にはアンダースコアが 2 個設定されている点に注意してください。その他のアンダースコアは 1 個です。yyyyMMddhhmmss はデータの年月日時分秒を UTC (協定世界時)で表します。

### (4) DVD で提供する解析雨量データ

- (ア) DVD で提供する解析雨量について、即時的な解析雨量の作成に間に合わないタイミングで入電した観測データの活用や異常な観測データを除去するなど事後に再解析を行ったデータを提供しています。(図 4 参照)
- (イ) 解析雨量の再解析は、1年間分のデータを DVD で提供し、その後は 3ヶ月ごとに、その翌月の下旬頃にデータを提供しています。(例:平成 27年1月から3月分のデータは、同年4月下旬頃に提供します)。

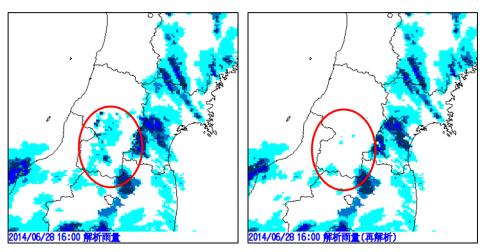


図4 再解析により異常な観測データを除去した解析雨量

## 3. 速報版解析雨量の仕様

## (1) データの概要

格子間隔、積算時間は解析雨量と同様です。速報版解析雨量は、算出処理の所要時間を短縮するため、雨量の算出に際し利用できる雨量計の数が制限されます。

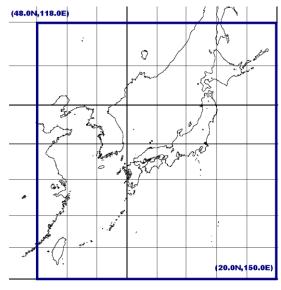


図5 各データの計算領域

ファイル形式		GRIB2				
格約	内要素	速報版解析雨量				
	格子系	等緯度経度				
格	配信領域	北緯 20 度~48 度 (図 5 参照)				
子		東経 118 度~150 度				
系	格子の間隔	0.0083 度(緯度)×0.0125 度(経度)				
	格子の数	3360(緯度)×2560(経度)				
予幸	眼時間等	1時間積算雨量				
作原	戈頻度	10 分毎				
ファ	ァイルサイズ	250KB				

#### (2) ファイル形式

速報版解析雨量のファイル形式は、国際気象通報式 FM92 GRIB 二進形式格子点資料気象通報式 (第2版) (以下 GRIB2) です。

GRIB2 の詳細については国際気象通報式・別冊に記述されています。

データの概要は以下のとおりです。(フォーマットの詳細については別紙2を参 照願います)。

### (3) ファイル名

Z\_\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_SRF\_GPV\_Ggis1km\_Prr601v\_Aper10min\_ANAL\_grib2.bin ※1 ZとCの間にはアンダースコアが2個設定されている点に注意してください。その他

のアンダースコアは 1 個です。yyyyMMddhhmmss はデータの年月日時分秒を UTC (協定 世界時) で表します。

# 4. サンプルデータ

サンプルデータは (一財) 気象業務支援センターに提供しておりますので、必要な場合は同センターへお問い合わせください。

## 5. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。

2. 1kmメッシュ解析雨量に用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
第0節	指示節	1~4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(CCITT IA5)
		5~6 7	保留 資料分野	符号表0.0	missing 0	  気象分野
		8	GRIB版番号	1, 3,2,	2	
第1節 記	144 Pul 55	9~16 1~4	GRIB報全体の長さ 節の長さ		***** 21	
弗   即   語	部以为引起门	5	節番号		1	
		6~7	作成中枢の識別	共通符号表C-1		東京
		8~9	作成副中枢	<b>か</b> 日末10	0	
		10 11	GRIBマスター表バージョン番号 GRIB地域表バージョン番号	符号表1.0 符号表1.1	2	
		12	参照時刻の意味	符号表1.2		解析
		13~14	資料の参照時刻(年)		<u>%1</u>	
		15 16	資料の参照時刻(月)  資料の参照時刻(日)		<u>%1</u> %1	
		17	資料の参照時刻(時)		<b>※</b> 1	
		18 19	資料の参照時刻(分)  資料の参照時刻(秒)		<u>%1</u> %1	
		20	食材の参照時刻(校)  作成ステータス	符号表1.3		0=現業プロダクト、1=現業的試験プロダクト
	III I b th math	21	資料の種類	符号表1.4	0	解析プロダクト
	地域使用節 格子系定義節	不使用 1~4	節の長さ		<u>省略</u> 72	
A) O M)	10 1 // // 42/01	5	節番号		3	
		6	格子系定義の出典	符号表3.0	0	符号表3. 1参照
		7~10	資料点数		*****	図1の例(20-48N,118-150E)では  2560×3360=8601600
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
		12	格子点数を定義するリストの説明	Mr	0	
		13~14 15	格子系定義テンプレート番号 地球の形状	符号表3.1 符号表3.2	4	緯度・経度格子  GRS80回転楕円体
		16	地球球体の半径の尺度因子	19.730. 2	missing	GROOM TANKET THE
		17~20	地球球体の尺度付き半径		missing	
		21 22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度因子  地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		63781370	
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		1	
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		63567523	W10/W7/+ 0500
		31~34 35~38	緯線に沿った格子点数 経線に沿った格子点数		*****	図1の例では 2560 " 3360
		39~42	原作成領域の基本角		0	
		43~46	端点の経度及び緯度並びに方向増分 の定義に使われる基本角の細分		missing	
	ł	47~50	最初の格子点の緯度	10-6度単位	*****	図1の例では、48N-(2/3)*(1/80)/2=47995
		51~54	最初の格子点の経度	10-6度単位	*****	" 118E+(1/80)/2=118006250
		55	分解能及び成分フラグ	フラグ表3.3	0x30	図1の例では、
		56~59	最後の格子点の緯度	10-6度単位	*****	ZON+(2/3)*(1/80)/2=20004167
		60~63	最後の格子点の経度	10-6度単位	*****	" 150E-(1/80)/2=149993750
		64~67 68~71	i方向の増分  j方向の増分	10-6度単位 10-6度単位	12500 8333	1/80 (2/3)*(1/80)
		72	カーの増す  走査モード	10-6度単位 フラグ表3.4	0x00	
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ		*****	
		5 6~7	節番号 テンプレート直後の座標値の数		4 0	
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4.0	50008	し
		o~9	ノロスソドに我ドノノレード借写	115 万 仅 4. U	50008	(テンプレート4.8の拡張版)
	ここから テンプレート4.50008	10	パラメータカテゴリー	符号表4. 1	1	湿度
	1,00000	11	パラメータ番号	符号表4.2		1時間降水量レベル値
	<b>‡</b>	12	作成処理の種類 背景作成処理識別符	符号表4.3	0	
	1	13 14	再京17成処理識別符  予報の作成処理識別符	JMA定義	150 missing	
	į į	15~16	観測資料の参照時刻からの締切時間(時)		0	
	<b>‡</b>	17	観測資料の参照時刻からの締切時間(分)	かります 4	10	
	1	18 19~22	期間の単位の指示符 予報時間	符号表4.4	0 ※1	分
	Ĭ	23	第一固定面の種類	符号表4.5	1	地面叉は水面
	† [	24	第一固定面の尺度因子		missing	
	1	25~28 29	第一固定面の尺度付きの値 第二固定面の種類	符号表4.5	missing missing	
	į l	30	第二固定面の尺度因子		missing	
	†	31~34	第二固定面の尺度付きの値		missing	
	<b>†</b>	35~36 37	全時間間隔の終了時(年) 全時間間隔の終了時(月)		<u>%1</u> %1	
	‡	38	全時間間隔の終了時(日)		<b>※</b> 1	
	†	39	全時間間隔の終了時(時)		<b>※</b> 1	
	<b>†</b>	40 41	全時間間隔の終了時(分) 全時間間隔の終了時(秒)		<u>%1</u> %1	
	*		統計を算出するために使用した			
	<b>†</b>	42 43~46	時間間隔を記述する期間の仕様の数 統計処理における欠測資料の総数		1	
	į l	47	統計処理の種類	符号表4. 10		積算
	1	48	統計処理の時間増分の種類	符号表4.11	2	同じ予報開始時刻を持ち、 予報時間に増分が加えられる
	1	49	統計処理の時間の単位の指示符	符号表4.4		分
	1	50~53	統計処理した期間の長さ 連続的な資料場間の増分に関する		60	<u>*1</u>
	1	54	時間の単位の指示符		0	
	†	55~58	連続的な資料場間の時間の増分			連続的な処理の結果
	1	59~66 67~74	レーダー等運用情報その1 レーダー等運用情報その2		<u> </u>	
	ここまで	75~82	雨量計運用情報		<u>**2</u>	
第5年	テンプレート4.50008 資料表現節	1~4			*****	
apの即[]	只介仅况即	5	節の長さ 節番号		****** 5	
		6~9	全資料点の数			図1の例では、2560×3360=8601600
	ここから	10~11	資料表現テンプレート番号	符号表5.0	200	格子点資料ーランレングス圧縮
	テンプレート5.200	12	1データのビット数		8	
	15.230	13~14	今回の圧縮に用いたレベルの最大値			Vは可変(<=M)
	†	15~16	データの取り得るレベルの最大値		M	現解析雨量の場合は、98
	↓ ここまで	17 16+2×m~	データ代表値の尺度因子			現解析雨量の場合  m=1~M、レベルOは欠測値、単位は
	テンプレート5.200	17+2×m	レベルmに対応するデータ代表値		R(m)	mm/h
		1~4	節の長さ		6	
第6節 は	ビットマップ節		節番号		6	
第6節 は	ヒットマッフ節	5 6			766	ドットマップを:歯田廿す
第6節 は第7節 3	-	5 6 1~4	ビットマップ指示符 節の長さ		255 *****	ビットマップを適用せず
	-	6	ビットマップ指示符		***** 7	ビットマップを適用せす 資料テンプレート7.200で記述された形式

## ※1 時刻の表現

時刻は世界標準時を用い、年月日時分秒で使用する数値は、

年:4桁の年、月:1-12、日:1-31、時:0-23、分:0-59、秒:0-59 とする。

解析雨量・降水短時間予報の降水量レベル値に

プロダクト定義テンプレート4.50008あるいは4.50009を適用した場合の各項目の表現

(2004年1月10日12UTCの解析値および同時刻を初期値とする予測値の場合)

	①参照時刻	②予報時間	③開始時刻 (①+②)	④統計 期間	⑤全時間の 終了時
解析雨量	2004.01.10.12:00	-60	-60	60	2004.01.10.12:00
			2004.01.10.11:00 2004.01.10.13:00		

単位=分

単位=分

#### (1)レーダー等運用情報その1 (■は2ビットを表す、□は保留2ビット) < 8 バイト中の配置> ------------64 60 56 52 48 44 40 36 32 28 24 20 16 12 8 4 \$ E□□□□空他他ア沖名石沖名種福室広松大名福静長東新秋仙函釧札 1 X 港雨レメ縄瀬垣縄瀬子岡戸島江阪古井岡野京潟田台館路幌 量|ダSS島 島岬 屋 6 計ダスPP (2)レーダー等運用情報その2 (■は2ビットを表す、□は保留2ビット) < 8 バイト中の配置> 64 60 56 52 48 44 40 36 32 28 24 20 16 12 □□□□□□八五国釈高明大羅城深蛇御高大三赤聖薬宝西白物函霧乙ピ 重島見迦城神和漢ヶ山峠在鈴楠ッ城高師達岳鷹見岳裏部ン 岳 山岳山山山山森 所山山峠山原岳山 山山 山岳ネ Ш IJ (3)雨量計運用情報 < 8 バイト中の配置> (■は1ビットを表す、□は保留1ビット) $64 \ 62 \ 60 \ 58 \ 56 \ 54 \ 52 \ 50 \ 48 \ 46 \ 44 \ 42 \ 40 \ 38 \ 36 \ 34$ 沖鹿宮熊佐長大福山高愛香徳鳥島広岡和奈兵大京滋福石富新三岐愛静山 縄児崎本賀崎分岡口知媛川島取根島山歌良庫阪都賀井川山潟重阜知岡梨 島 111 32 30 28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 長神千東埼群栃茨福山宮岩秋青北□□□□□□□□□□□□□道水ア 野奈葉京玉馬木城島形城手田森海 路管メ Ш 渞 局理ダ ス 玉 + 保 全 局 <レーダー等運用情報各2ビットの内容> 単一レーダー EX6 (予想値のみ) その他 0 ...... 利用なし 利用なし 利用なし 1 ...... 観測実施 (エコーあり) 今回EX6利用 利用あり 2 ...... 観測実施 (エコーなし) 前回EX6利用 保留 3 ...... 観測なし (No Operation) 保留 保留 < \$ 1 の内容> (予想値のみ) \$1:1ビット目=数値予報モデルの利用フラグ、2ビット目=00Mの利用フラグ <雨量計運用情報各1ビットの内容> 対象雨量計 0 ..... 利用なし

※ 2 各データ使用フラグの詳細

利用あり

1 . . . . . .

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
第O節	指示節	1~4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(CCITT IA5)
		5~6	保留	**	missing	E & () mg
		7 8	資料分野 GRIB版番号	符号表0.0	2	気象分野
		9~16	GRIB報全体の長さ		*****	
第1節	識別節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号	H. 77 AM C	1	**
		6~7 8~9	作成中枢の識別	共通符号表C-1		東京
		10	作成副中枢 GRIBマスター表バージョン番号	符号表1.0	0 2	マスター表バージョン
		11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1.1		地域表バージョン1
		12	参照時刻の意味	符号表1.2		解析
		13~14	資料の参照時刻(年)		<u>%1</u>	
		15	資料の参照時刻(月)   資料の参照時刻(日)		<u>%1</u> %1	
		16 17	資料の参照時刻(時)		×1	
		18	資料の参照時刻(分)		<b>%</b> 1	
		19	資料の参照時刻(秒)		<b>※</b> 1	
		20	作成ステータス	符号表1.3		0=現業プロダクト、1=現業的試験プロダクト 解析プロダクト
第2節	地域使用節	<u>21</u> 不使用	資料の種類	符号表1.4		<del>脾析プロダクト</del>
	格子系定義節	1~4	節の長さ		72	
		5	節番号	*	3	At [] = 4 A ST
		6	格子系定義の出典	符号表3.0	0	符号表3. 1参照
		7~10	資料点数		*****	図1の例(20-48N,118-150E)では 2560×3360=8601600
		11	日村点奴   格子点数を定義するリストのオクテット数		0	2500 ^ 3500-8001000
		12	格子点数を定義するリストの説明		0	
		13~14	格子系定義テンプレート番号	符号表3.1		緯度・経度格子
		15	地球の形状	符号表3.2		GRS80回転楕円体
		16 17~20	地球球体の半径の尺度因子 地球球体の尺度付き半径		missing	
		17~20 21	地球球体の尺度付き半径  地球回転楕円体の長軸の尺度因子		missing 1	
		22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		63781370	
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		1	
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		63567523	
		31~34	緯線に沿った格子点数		*****	図1の例では 2560
		35~38	経線に沿った格子点数		*****	" 3360
		39~42	原作成領域の基本角  端点の経度及び緯度並びに方向増分		0	
		43~46	の定義に使われる基本角の細分		missing	
		47~50	最初の格子点の緯度	10-6度単位	*****	図1の例では、48N-(2/3)*(1/80)/2=47995
		51~54	最初の格子点の経度	10-6度単位	*****	" 118E+(1/80)/2=118006250
		55	分解能及び成分フラグ	フラグ表3.3	0x30	図1の例では、2001/2/23が1/201/2-20004
		56~59 60~63	最後の格子点の緯度 最後の格子点の経度	10-6度単位 10-6度単位	*****	図1の例では、20N+(2/3)*(1/80)/2=20004 " 150E-(1/80)/2=149993750
		64~67	i方向の増分	10-6度単位	12500	
		68~71	j方向の増分	10-6度単位		(2/3)*(1/80)
Arte		72	走査モード	フラグ表3.4	0x00	
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ		*****	
		5 6~7	節番号  テンプレート直後の座標値の数		0	
				<b>佐旦ま</b> 4 ○		レーダー等に基づく解析プロダクト
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4.0	50008	(テンプレート4.8の拡張版)
	ここから	10	パラメータカテゴリー	符号表4.1	1	湿度
	テンプレート4.50008		パラメータ番号	符号表4.2		1時間降水量レベル値
		11 12	ハフメータ番号  作成処理の種類	符号表4.2 符号表4.3		1時間降水量レベル値  解析
		13	背景作成処理識別符	JMA定義		降水短時間予報ルーチン
		14	予報の作成処理識別符	.,_,	missing	
	↓	15~16	観測資料の参照時刻からの締切時間(時)		0	
		17	観測資料の参照時刻からの締切時間(分)	符号表4. 4	10	
		18 19~22	期間の単位の指示符  予報時間	157 方 仅 4 . 4	<u> </u>	分
		23	第一固定面の種類	符号表4.5	1	地面叉は水面
	Į į	24	第一固定面の尺度因子		missing	
	↓	25~28	第一固定面の尺度付きの値	****	missing	
		29	第二固定面の種類	符号表4.5	missing	
		30 31~34	第二固定面の尺度因子  第二固定面の尺度付きの値		missing missing	
		35~36	第一回定画の尺度刊さの値   全時間間隔の終了時(年)		missing ※1	
	l il	37	全時間間隔の終了時(月)		×1	
		38	全時間間隔の終了時(日)		<b>※</b> 1	
	↓	39	全時間間隔の終了時(時)		<b>※</b> 1	
		40	全時間間隔の終了時(分)		<u>%1</u>	
		41	全時間間隔の終了時(秒)  統計を算出するために使用した		<b>%</b> 1	
	ļ .	42	時間間隔を記述する期間の仕様の数		1	
		43~46	統計処理における欠測資料の総数	<b>然日主4</b> · ·	0	
		47	統計処理の種類	符号表4.10		積算   同じ予報開始時刻を持ち、
	<b>↓</b>	48	統計処理の時間増分の種類	符号表4.11	2	予報時間に増分が加えられる
		49	統計処理の時間の単位の指示符	符号表4.4		分
	↓	50~53	統計処理した期間の長さ 連続的な資料場間の増分に関する		60	<u></u> ×1
	1	54	連続的な質料場間の増分に関する 時間の単位の指示符		0	
		55~58	連続的な資料場間の時間の増分		0	連続的な処理の結果
	↓	59~66	レーダー等運用情報その1		<b></b> 2	
	∓~	67~74	レーダー等運用情報その2		<b></b> 2	
	ここまで テンプレート4.50008	75~82	雨量計運用情報		<b></b> 2	
	資料表現節	1~4	節の長さ		*****	
第5節		5	節番号		5	
第5節		6~9	全資料点の数	At 0 -		図1の例では、2560×3360=8601600
第5節		10~11	資料表現テンプレート番号	符号表5.0	200	格子点資料-ランレングス圧縮
第5節	, -		1データのビット数		8	
第5節	ここから	12				   Vは可変(<=M)
第5節	ここから テンプレート5.200		全向の圧縮に用いた」が11の基本体		M	vion支(ヘーIVI)
第5節		13~14	今回の圧縮に用いたレベルの最大値   レベルの最大値			
第5節			レベルの最大値		1	
第5節		13~14 15~16	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子		1	
	テンプ゚レート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで テンプ゚レート5.200	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルmに対応するデータ代表値		1 R(m)	m=1~M、レベルOは欠測値、単位はmm
	テンプレート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルmに対応するデータ代表値 節の長さ		1 R(m)	m=1~M、レベルOは欠測値、単位はmm
	テンプ゚レート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで テンプ゚レート5.200	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m 1~4 5	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルmに対応するデータ代表値 節の長さ 節番号		1 R(m) 6 6	m=1~M、レベルOは欠測値、単位はmm
第6節	テンプレート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで <u>テンプレート5.200</u> ビットマップ節	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m 1~4 5	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルmに対応するデータ代表値 節の長さ 節番号 ビットマップ指示符		1 R(m) 6 6 255	m=1~M、レベルOは欠測値、単位はmm ビットマップを適応せず
第6節	テンプ゚レート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで テンプ゚レート5.200	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m 1~4 5	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルmに対応するデータ代表値 節の長さ 節番号 ビットマップ指示符 節の長き 節番号		1 R(m) 6 6	
第6節 第7節	テンプレート5.200 ↓ ↓ ↓ ここまで <u>テンプレート5.200</u> ビットマップ節	13~14 15~16 17 16+2×m~ 17+2×m 1~4 5 6	レベルの最大値 データ代表値の尺度因子 レベルルに対応するデータ代表値 節の長さ 節番号 ビットマップ指示符 節の長さ		1 R(m) 6 6 255 ****** 7 D	

### ※1 時刻の表現

時刻は世界標準時を用い、年月日時分秒で使用する数値は、 年:4桁の年、月:1-12、日:1-31、時:0-23、分:0-59、秒:0-59 とする。

(2016年10月10日12UTCの速報版解析雨量の場合)

	①参照時刻	②予報時間	③開始時刻 (①+②)	④統計 期間	⑤全時間の 終了時
速報版解析雨量	2016.10.10.12:00	-60	-60 2016.10.10.11:00	60	2016.10.10.12:00

単位=分

単位=分

### ※2 各データ使用フラグの詳細

#### (1)レーダー等運用情報その1 < 8 バイト中の配置> (■は2ビットを表す、□は保留2ビット) 64 60 56 52 48 44 40 36 32 28 24 20 16 12 8 4 \$ E□□□□空他他ア沖名石沖名種福室広松大名福静長東新秋仙函釧札 港雨レメ縄瀬垣縄瀬子岡戸島江阪古井岡野京潟田台館路幌 1 X 量 ダSS島 島 岬 6 屋 計ダスPP (2)レーダー等運用情報その2 < 8 バイト中の配置> (■は2ビットを表す、□は保留2ビット) 64 60 56 52 48 44 40 36 32 28 24 20 16 12 8 4 □□□□□□八五国釈高明大羅城深蛇御高大三赤聖薬宝西白物函霧乙ピ 重島見迦城神和漢ヶ山峠在鈴楠ッ城高師達岳鷹見岳裏部ン 岳 山岳山山山山森 所山山峠山原岳山 山山 山岳ネ Ш シ IJ (3)雨量計運用情報 <8バイト中の配置> (■は1ビットを表す、□は保留1ビット) ------------ $64 \quad 62 \quad 60 \quad 58 \quad 56 \quad 54 \quad 52 \quad 50 \quad 48 \quad 46 \quad 44 \quad 42 \quad 40 \quad 38 \quad 36 \quad 34$ 沖鹿宮熊佐長大福山高愛香徳鳥島広岡和奈兵大京滋福石富新三岐愛静山 縄児崎本賀崎分岡口知媛川島取根島山歌良庫阪都賀井川山潟重阜知岡梨 島 Щ -------------------------------32 30 28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 4 長神千東埼群栃茨福山宮岩秋青北□□□□□□□□□□□□□□□□ボア 野奈葉京玉馬木城島形城手田森海 路管メ Ш 局理ダ ス 玉 土 保 全. 局 <レーダー等運用情報各2ビットの内容> 単一レーダー EX6 (予想値のみ) その他 0 ...... 利用なし 利用なし 利用なし 1 ...... 観測実施 (エコーあり) 今回EX6利用 利用あり 2 ...... 観測実施 (エコーなし) 前回EX6利用 保留 3 ...... 観測なし (No Operation) 保留 保留 < \$ 1 の内容> (予想値のみ) \$1:1ビット目=数値予報モデルの利用フラグ、2ビット目=00Mの利用フラグ <雨量計運用情報各1ビットの内容> 対象雨量計 利用なし 0 ..... 利用あり 1 .....